

最近の管内総合経済動向 (2025年10月指標を中心として)

2025年12月17日

経済産業省 中部経済産業局
企画調査課

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2025年10月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「管内」とは、富山、石川、岐阜、愛知及び三重の5県を指す。
4. 前月比及び前年同月比は、増減率(%)を表す。
5. 下線部は、先月から変更した判断。

(お問合せ先)

中部経済産業局 総務企画部 企画調査課長 品田

担 当 : 中島

電 話 : 052-951-2723

メール : bz1-chb-chosa@meti.go.jp










最近の管内総合経済動向 (2025年10月指標を中心として)

- 生産は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。
- 公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数が7か月連続で前年同月を下回った。
- 輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った。
- 雇用は、有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が3か月連続で前年同月を下回った。
- 企業倒産は、倒産件数が5か月ぶりに前年同月を下回った。

以上、総合的に判断して、**最近の管内の経済動向は、緩やかに持ち直している**。

総括判断の変更は、2025年6月発表以来、6か月ぶり。

判断の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	前月との 判断比較
公表月日		7月16日	8月20日	9月17日	10月16日	11月20日	12月17日	
実績月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	
総括判断		持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u>	 6か月ぶり
管内生産（総合）		緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	 6か月ぶり
主要産業の生産動向	◎輸送機械	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	 6か月ぶり
	◎生産用機械	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 9か月連続
	◎電子部品・デバイス	<u>足踏み状態となっている</u>	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	 2か月連続
	◎電気機械	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 8か月連続
	◎金属製品	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	<u>弱含みとなっている</u>	弱含みとなっている	弱含みとなっている	 3か月連続
	◎鉄鋼	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 21か月連続
個人消費		持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	 28か月連続

※下線部は判断を変更。



上方修正



据え置き



下方修正

動向の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		7月16日	8月20日	9月17日	10月16日	11月20日	12月17日
実績月		5月	6月	7月	8月	9月	10月
需 要 の 動 向	◎設備投資	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている
	◎公共投資	公共工事前払金保証請負金額が3か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が4か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が5か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が6か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が7か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が3か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が4か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が5か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が6か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が7か月連続で前年同月を下回った
	◎輸出	名古屋税関管内の輸出通関額が6か月ぶりに前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が4か月連続で前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が5か月ぶりに前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った
	◎雇用	有効求人倍率が5か月ぶりに低下した。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月連続で低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が3か月ぶりに上昇した。また、新規求人数が3か月ぶりに前年同月を上回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。	有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が3か月連続で前年同月を下回った。
	◎企業倒産	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を下回った	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った	倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が3か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が4か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が5か月ぶりに前年同月を下回った

1. 生産

生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（10月速報）は、電子部品・デバイス工業、繊維工業等がマイナス寄与となったものの、輸送機械工業、生産用機械工業、汎用機械工業等がプラス寄与となったことから、前月比+4.6%と3か月連続の上昇となった。また、前年同月比は+1.7%と2か月連続の上昇となった。

業種の動向を見ると、主力の輸送機械工業は、自動車の生産が計画どおりで堅調となっていることから、持ち直しの動きがみられる。生産用機械工業は、金属工作機械などで設備投資に慎重な姿勢が続いていることから、横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、集積回路を中心にデータセンター向けなどに堅調な動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。他業種を含めた複合的な要因を考慮して、「緩やかな持ち直しに足踏みがみられる」から「持ち直しの動きがみられる」と判断を上方修正した。判断変更は6か月ぶり。

先行きについては、海外経済の動向や為替変動、不安定な世界情勢等によって引き続き不透明な状況が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

1. 生産

(2020年=100)

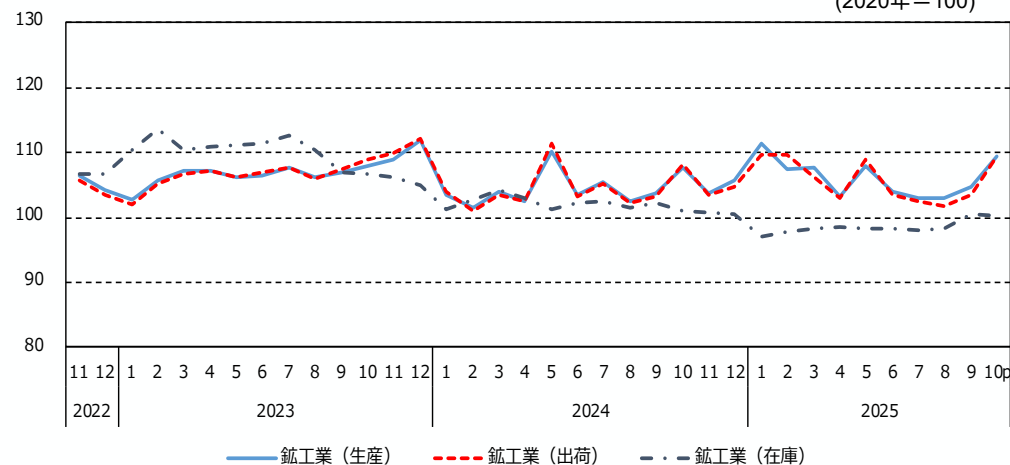
管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	
生産	104.6	109.4	+4.6	115.7	+1.7
出荷	103.4	109.4	+5.8	115.6	+1.1
在庫	100.5	100.3	- 0.2	99.8	- 0.7

(2020年=100)

全国	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	
生産	103.2	104.6	+1.4	108.8	+1.5
出荷	100.6	101.9	+1.3	106.1	+0.8
在庫	99.9	100.5	+0.6	101.0	- 1.7

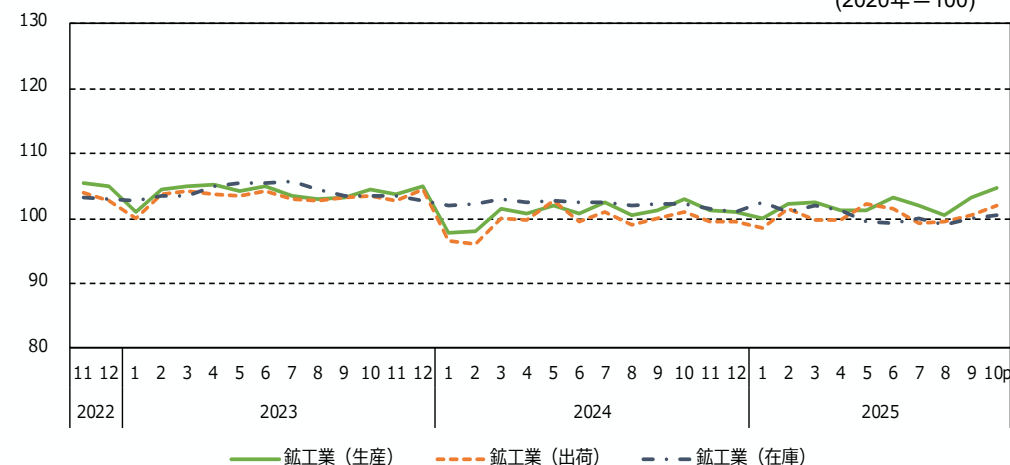
管内 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



全国 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



1. 生産

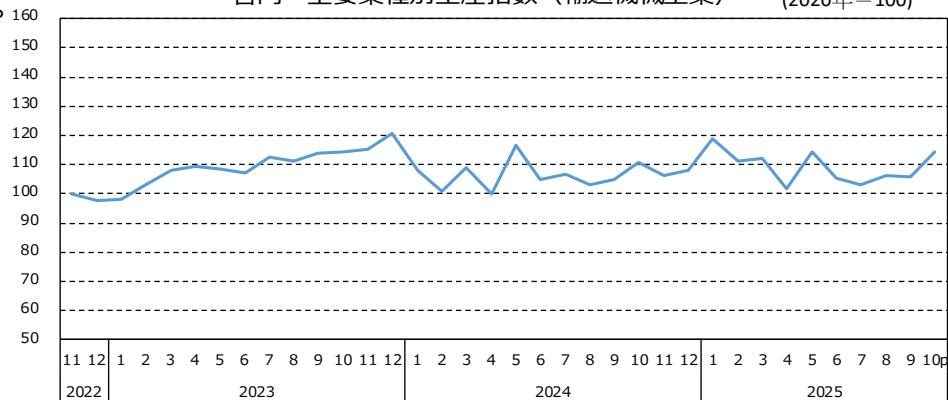
(1) 輸送機械の生産は、持ち直しの動きがみられる。

自動車の生産は計画どおりで堅調となっていることから、持ち直しの動きがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	前年 同月比
生産	105.7	114.2	+8.0	123.8	+3.2

管内 主要業種別生産指数（輸送機械工業） (2020年=100)



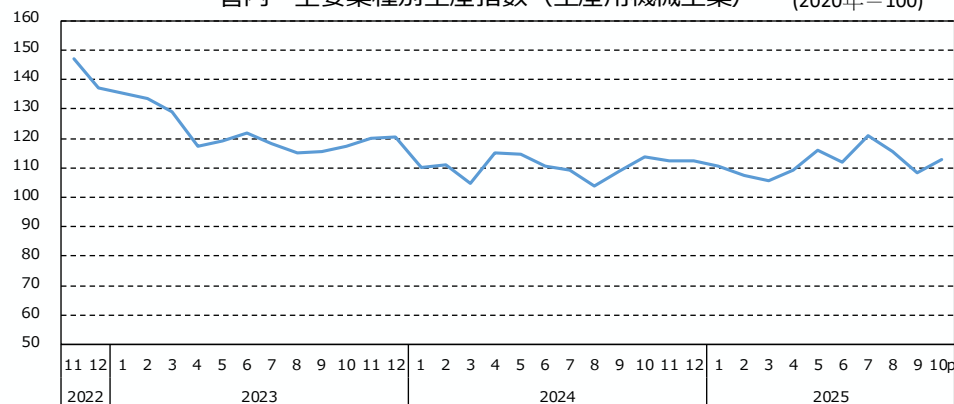
(2) 生産用機械の生産は、横ばいとなっている。

金属工作機械などで設備投資に慎重な姿勢が続いていることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	前年 同月比
生産	108.4	112.9	+4.2	113.3	-0.9

管内 主要業種別生産指数（生産用機械工業） (2020年=100)



1. 生産

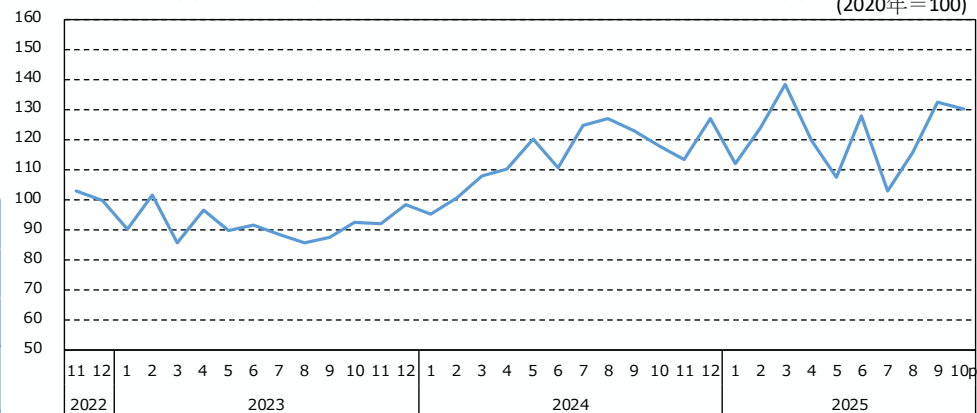
(3) 電子部品・デバイスの生産は、持ち直しの動きがみられる。

データセンター向けやモバイル向けなどに堅調な動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	前年 同月比
生産	132.4	130.3	- 1.6	131.0	+10.4

管内 主要業種別生産指数（電子部品・デバイス工業） (2020年=100)



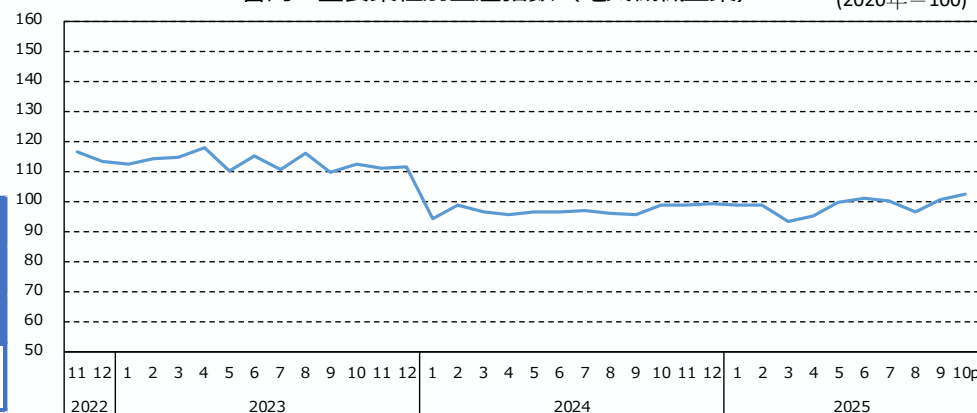
(4) 電気機械の生産は、横ばいとなっている。

市中在庫は正常化しつつあるものの、設備関連の一部製品で回復に遅れがみられることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比	2025年 10月p	前年 同月比
生産	101.0	102.8	+1.8	112.5	+4.0

管内 主要業種別生産指数（電気機械工業） (2020年=100)



1. 生産

(5) 金属製品の生産は、弱含みとなっている。

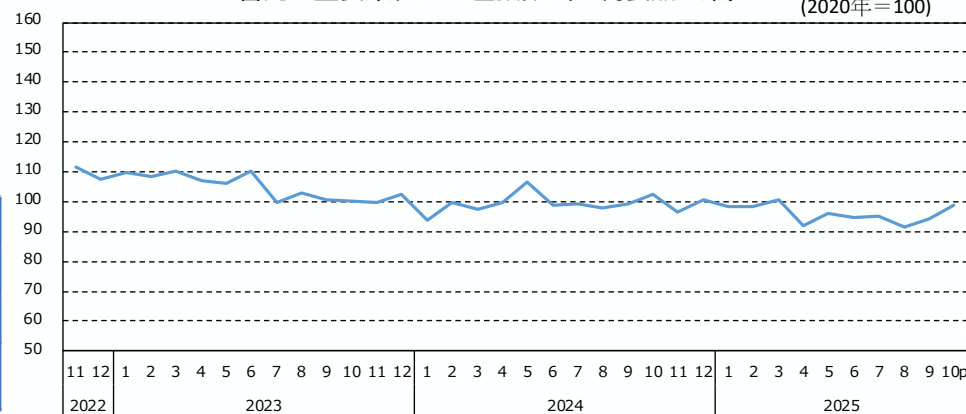
アルミニウム建材は新設住宅着工戸数が伸び悩んでおり、ビル向けの需要も減少していることから弱い動きとなっている。ばねは持ち直しの動きがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2025年 10月p	前年 同月比
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比		
生産	94.2	98.6	+4.7	111.1	- 3.6

管内 主要業種別生産指数（金属製品工業）

(2020年=100)



(6) 鉄鋼の生産は、横ばいとなっている。

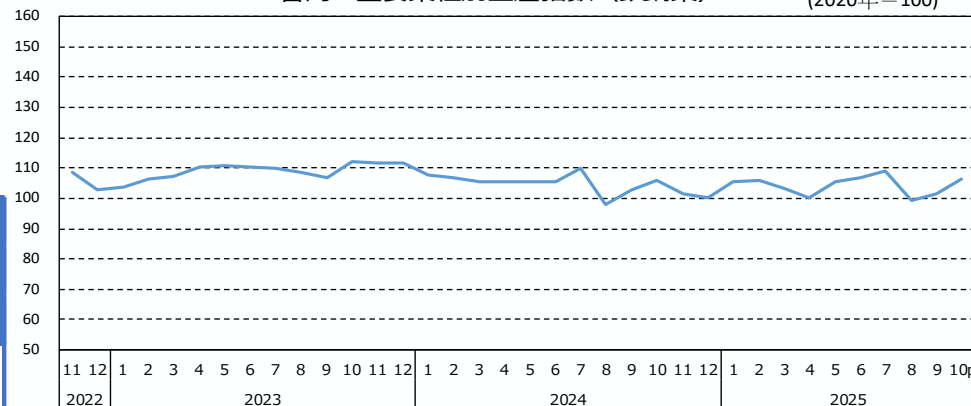
自動車向け需要は横ばいで推移しており、産業機械や建設機械向けなどの需要は弱い状態が続いている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2025年 10月p	前年 同月比
	2025年 9月	2025年 10月p	前月比		
生産	101.7	106.4	+4.6	114.4	+0.5

管内 主要業種別生産指数（鉄鋼業）

(2020年=100)



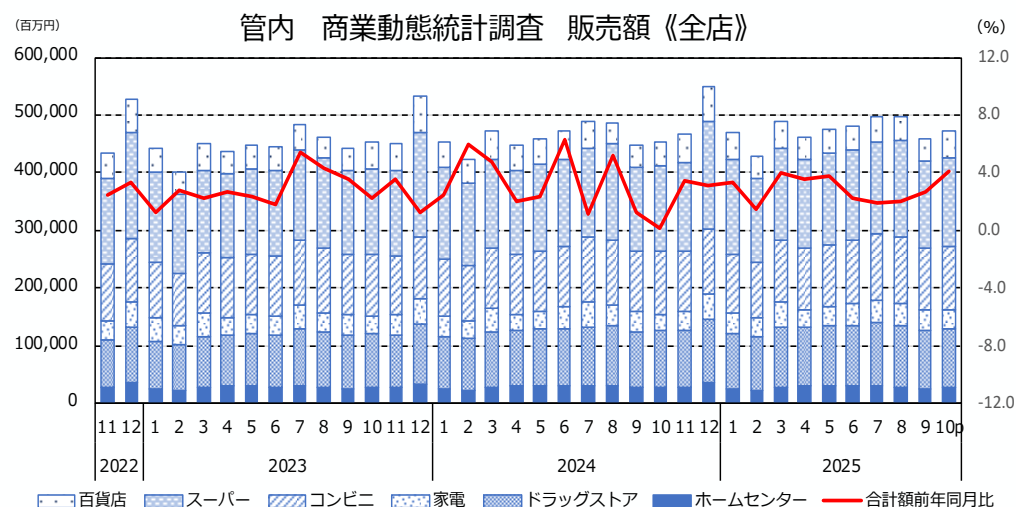
2. 個人消費

個人消費は、持ち直している。

10月の管内商業動態統計（販売額（速報値））は、前年同月比+4.1%と全体では47か月連続で前年を上回った。気温が低下し、秋物衣料や鍋物関連商品、暖房器具などの売上が伸長した。百貨店は、時計・宝飾品などの高額品の売上が好調となったほか、中国の国慶節に伴う訪日客を中心にインバウンド需要は堅調で、免税売上高が伸長した。スーパーは、米の相場高や原材料価格の高騰などによる商品の値上げが飲食料品の売上増加に寄与した。コンビニは、中華まんやホットドリンクなどカウンター商品の売上が伸長した。家電販売は、Windows10のサポート終了による買替え需要でPCの売上が大幅に伸長したほか、新製品の発売によりゲームソフトの売上が好調となった。ドラッグストアは、米の相場高が飲食料品の売上増加に寄与したほか、ハンドクリームなどの保湿用品やカイロの売上が伸長した。以上のことから、28か月連続で「持ち直している」と判断した。

先行きについては、物価の高騰や気温の変化、インバウンド需要等の複合的な影響を注視していく必要がある。

管内 10月速報値	販売額	前年同月比
百貨店	44,726	+6.0
スーパー	155,641	+4.9
コンビニエンスストア	108,854	+0.6
家電大型専門店	32,116	+10.9
ドラッグストア	103,048	+5.1
ホームセンター	27,230	-1.0
合計	471,615	+4.1



2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

百貨店は、3か月連続で前年を上回った。

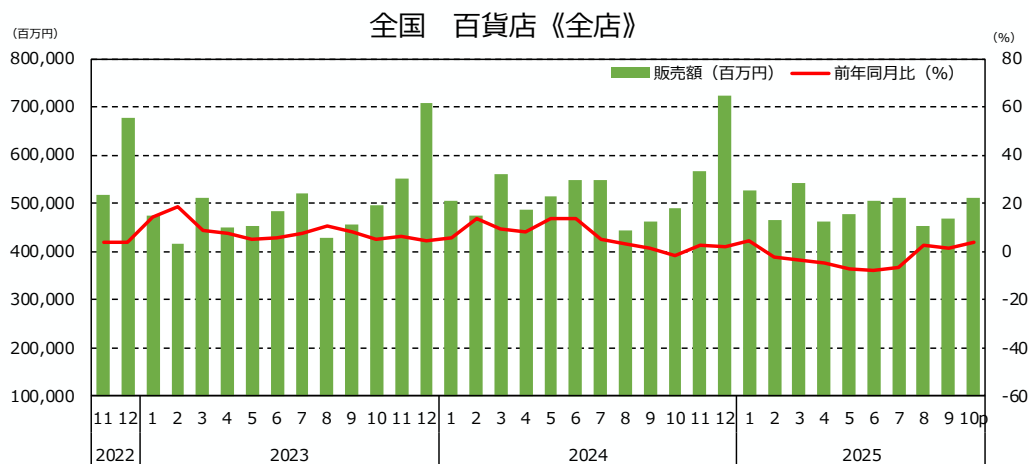
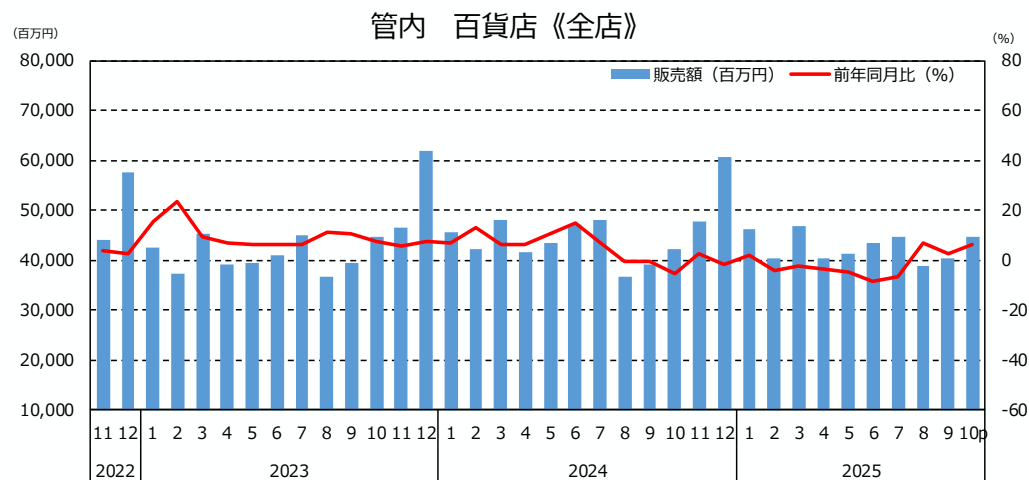
気温が低下し、羽織物などの秋物衣料の売上が伸長したほか、引き続き時計・宝飾品などの高額品の売上は好調となった。

中国の国慶節に伴う訪日客を中心にインバウンド需要は堅調で、免税売上高が伸長した。

管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	44,726	+6.0	※1 +6.0

※1 既存店とは、前年同月実績が比較できる状態の店のこと。1年未満の新店と閉店の実績を除く。

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	510,809	+4.0	+4.2



2. 個人消費

(2) スーパー販売額

スーパーは、12か月連続で前年を上回った。

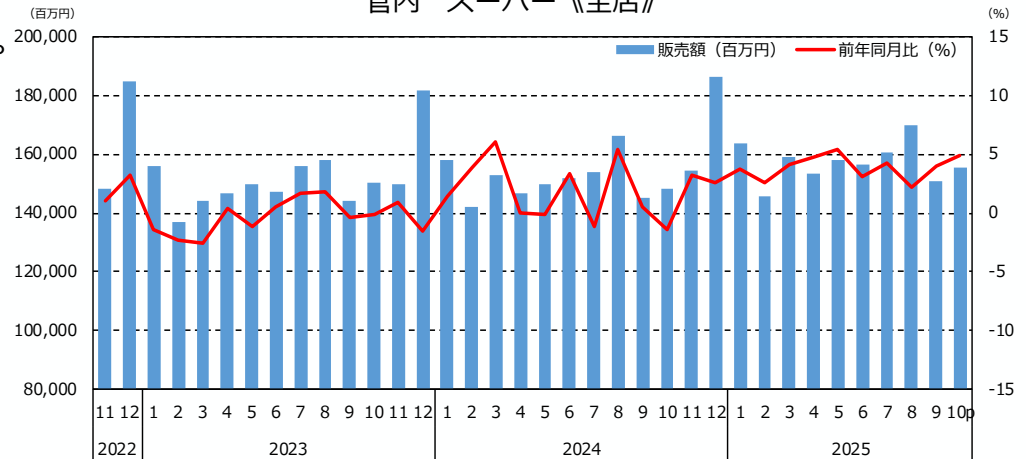
米の相場高や原材料価格の高騰などによる商品の値上げが飲食料品の売上増加に寄与した。

気温が低下し、鍋物やおでんなどの季節商品の売上が伸びた。

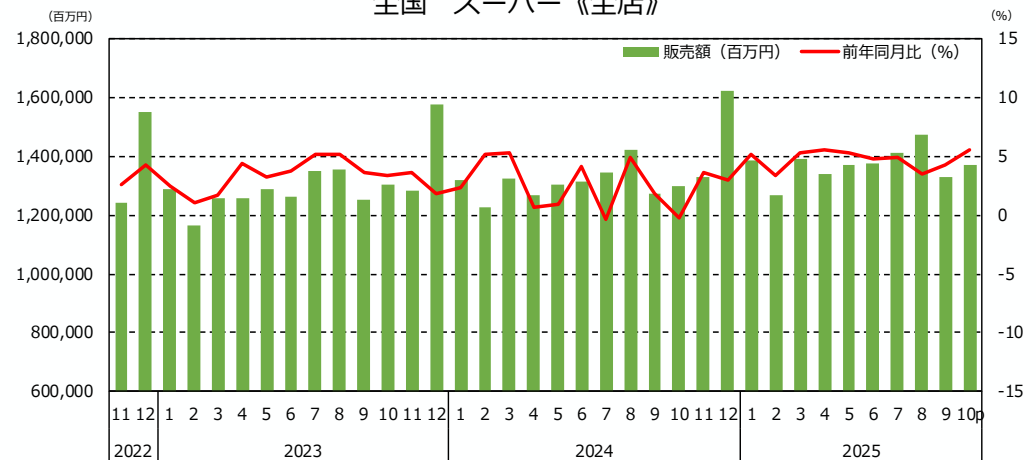
管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	155,641	+4.9	+3.2

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,370,220	+5.5	+3.0

管内 スーパー《全店》



全国 スーパー《全店》



2. 個人消費

(3) コンビニエンスストア販売額

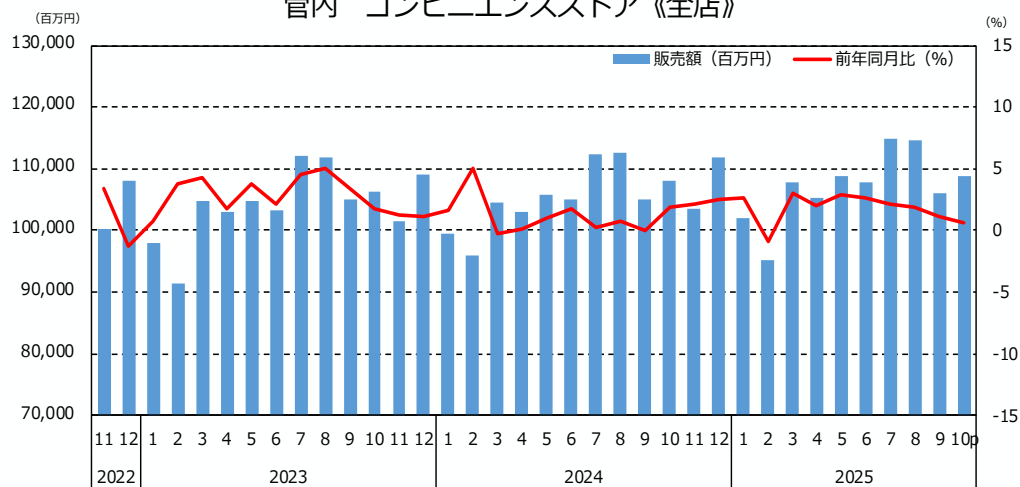
コンビニエンスストアは、8か月連続で前年を上回った。

気温が低下し、中華まんやホットドリンクなどカウンター商品の売上が伸長した。

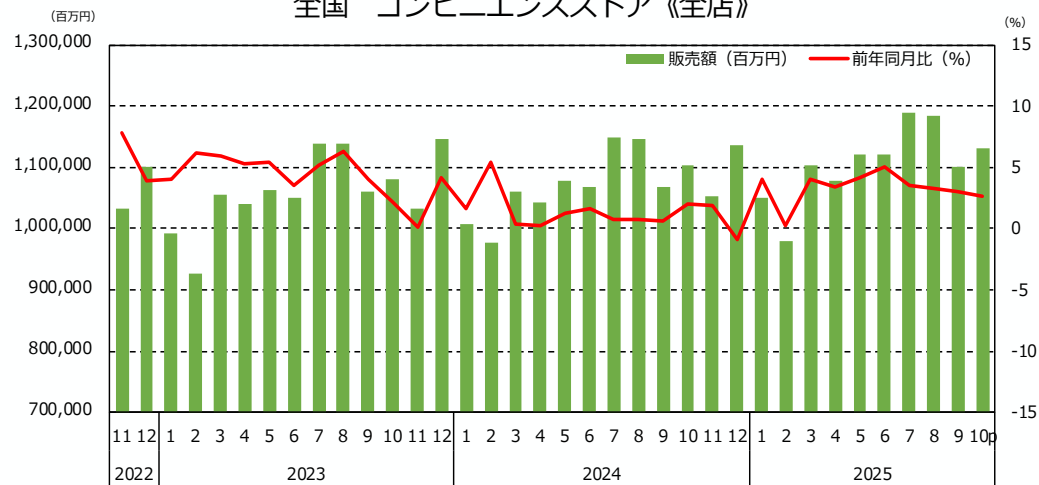
管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	108,854	+0.6

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	1,131,761	+2.6

管内 コンビニエンスストア《全店》



全国 コンビニエンスストア《全店》



2. 個人消費

(4) 家電大型専門店販売額

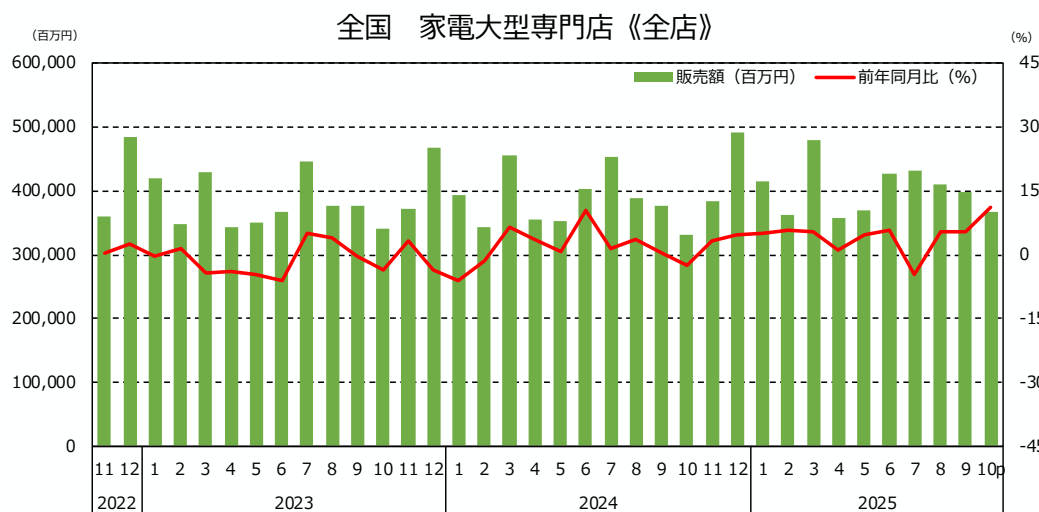
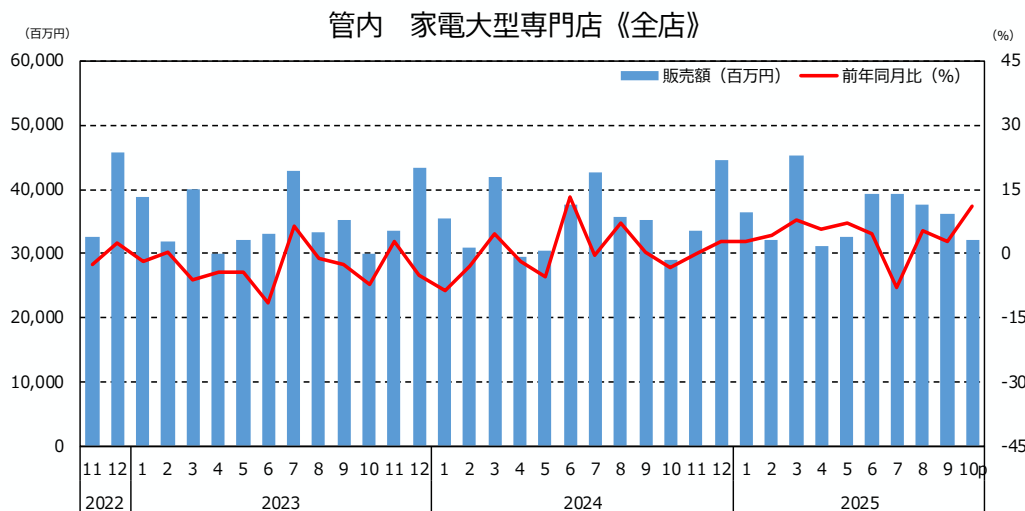
家電販売は、3か月連続で前年を上回った。

Windows10のサポート終了による買替え需要でPCの売上が大幅に伸長したほか、新製品の発売によりゲームソフトの売上が好調となった。

気温が低下し、ストーブやファンヒーターなどの暖房器具の売上が伸長した。

管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	32,116	+10.9

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	367,864	+11.0



2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

ドラッグストアは、54か月連続で前年を上回った。

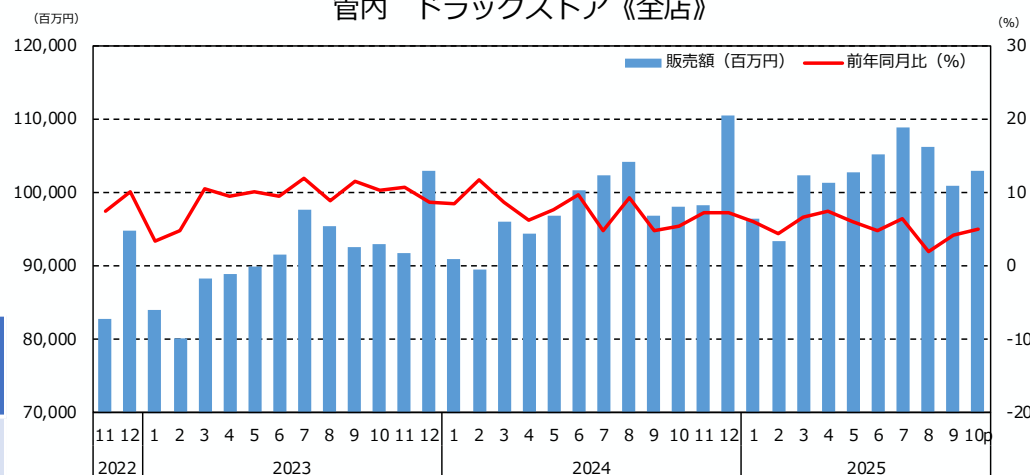
米の相場高が食品部門の売上増加に寄与したほか、気温が低下し、ハンドクリームなどの保湿用品やカイロの売上が伸長した。

新規出店効果から、調剤部門の売上が好調となった。

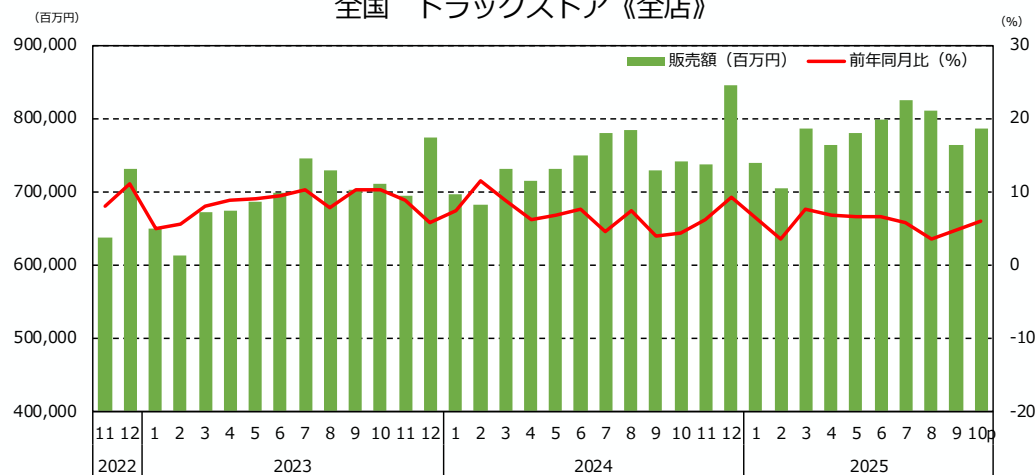
管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	103,048	+5.1

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	785,912	+6.0

管内 ドラッグストア《全店》



全国 ドラッグストア《全店》



2. 個人消費

(6) ホームセンター販売額

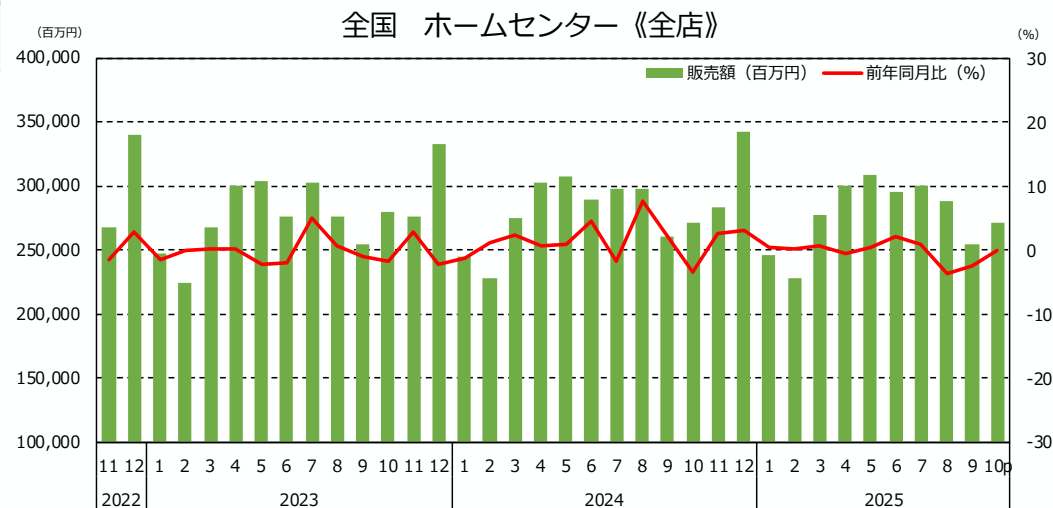
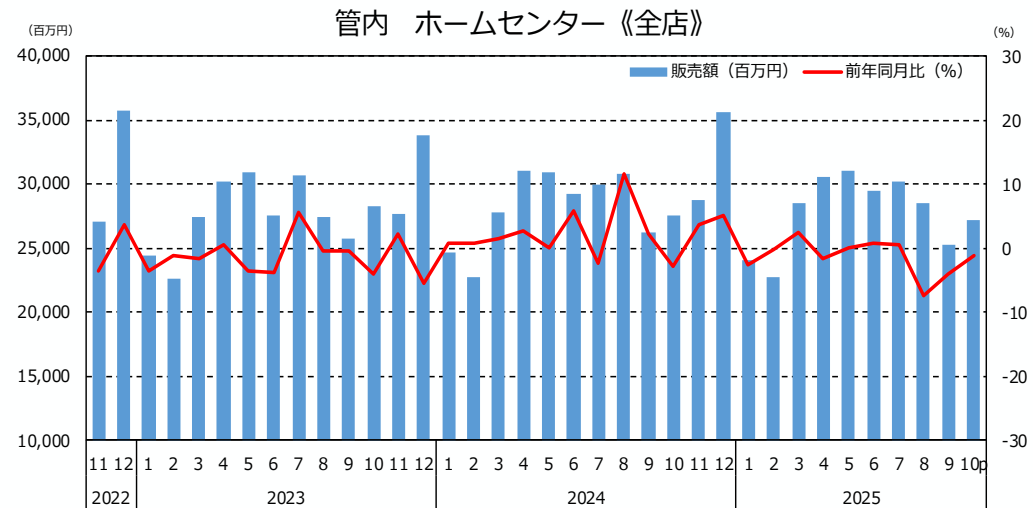
ホームセンターは、3か月連続で前年を下回った。

気温が低下し、灯油や暖房用品などの季節商品の売上が伸びた一方で、物価高による節約志向の影響から、家具などのインテリア部門の売上が低調となった。

前年は、防犯意識の高まりで防犯カメラや補助錠などの防犯用品の売上が伸びたため、当月はその反動減がみられた。

管内 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	27,230	- 1.0

全国 10月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	271,509	+ 0.2



2. 個人消費

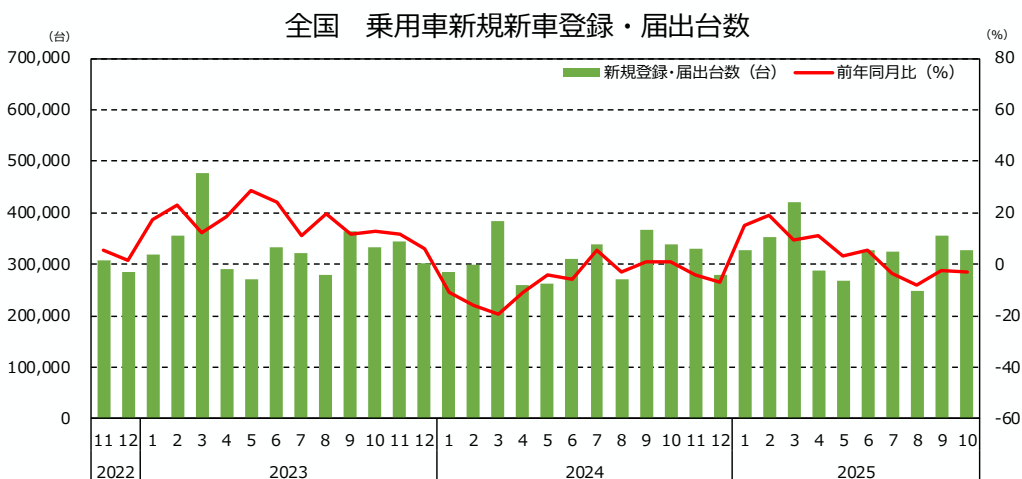
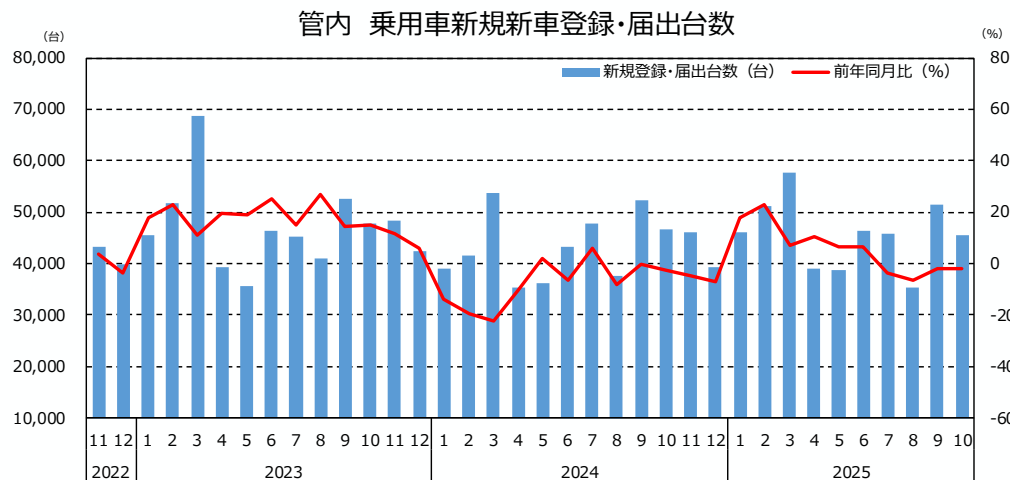
(7) 乗用車新規登録・届出台数

乗用車新車登録・届出台数は、4か月連続で前年を下回った。

新型車投入の谷間や前年の認証不正からの生産再開による反動減の影響もあり、新車の登録・届出台数は4か月連続で前年同月を下回った。

管内 10月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	45,689	- 1.9

全国 10月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	327,568	- 2.9



出所）（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。

(1) 企業短期経済観測調査（設備投資計画等） 2025年12月調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2024年度実績	2025年度計画	2024年度実績	2025年度計画
全産業	+7.1	+9.6	+2.3	+32.8
製造業	+7.8	+7.0	+1.7	+53.0
非製造業	+4.5	+18.3	+3.0	+10.5

出所) 日本銀行名古屋支店、日本銀行金沢支店

※東海（愛知、岐阜、三重）、北陸（石川、富山、福井）

※東海：ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）

北陸：ソフトウェア・研究開発を除く設備投資額（含む土地投資額）

(2) 法人企業景気予測調査 2025年10-12月期調査

(対前年度増減率%)

	東海	北陸
	2025年度（見込み）	2025年度（見込み）
全産業	+22.1	+22.2
製造業	+15.0	+22.1
非製造業	+27.7	+22.4

出所) 東海財務局、北陸財務局

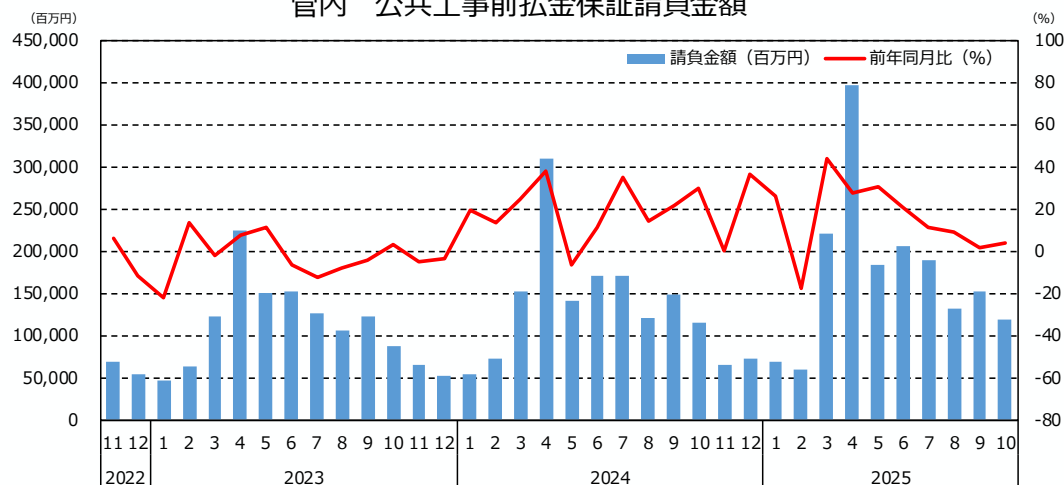
※東海（愛知、岐阜、静岡、三重）、北陸（石川、富山、福井）

4. 公共投資

公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った。

管内 10月	請負金額	前年同月比
前払金保証 請負金額	119,798	+4.3

管内 公共工事前払金保証請負金額

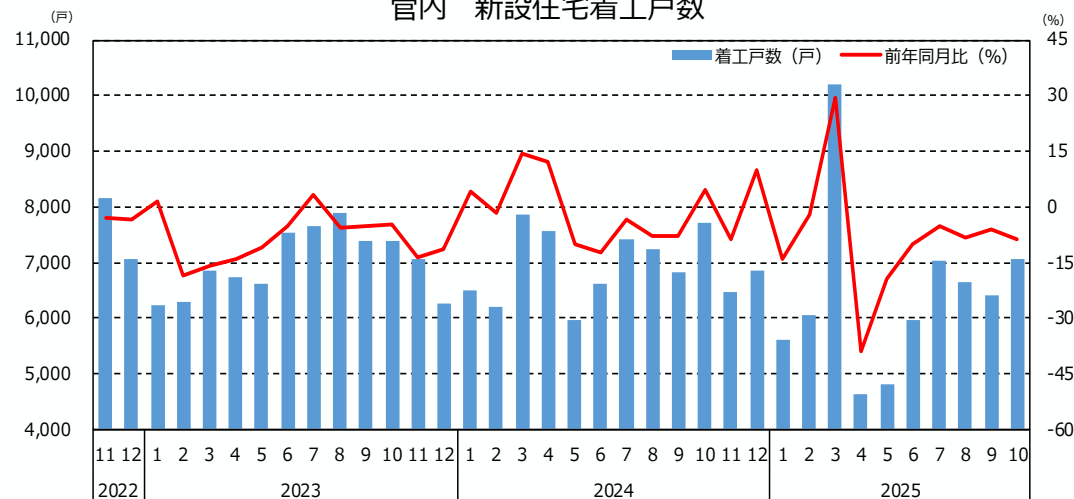


5. 住宅投資

住宅投資は、新設住宅着工戸数が7か月連続で前年同月を下回った。

管内 10月	戸数	前年同月比
新設住宅 着工戸数	7,059	- 8.6

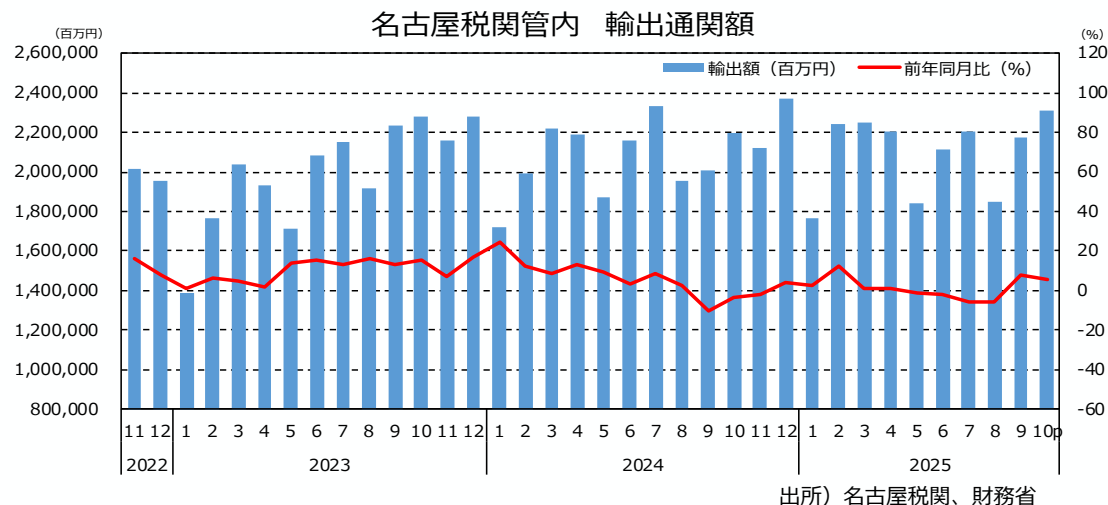
管内 新設住宅着工戸数



6. 輸出

輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った。

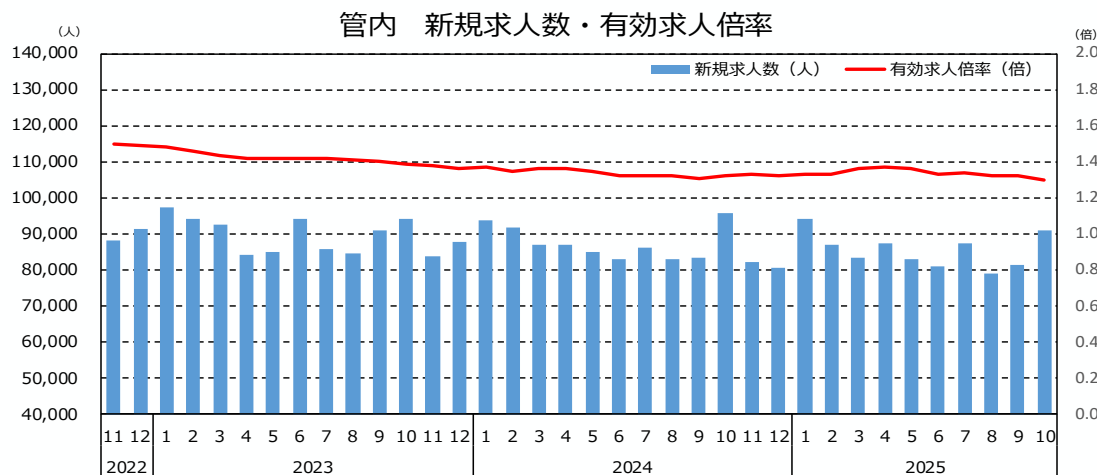
10月	輸出通関額 (速報)	前年同月比
名古屋税関 管内	2,312,780	+5.3



7. 雇用

雇用は、有効求人倍率が2か月ぶりに低下した。また、新規求人数が3か月連続で前年同月を下回った。

管内 10月	倍率	前月差
有効求人倍率 (季節調整値)	1.30	- 0.02
管内 10月	人数	前年同月比
新規求人数 (原数値)	90,999	- 4.9



8. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数が5か月ぶりに前年同月を下回った。

管内 10月	件数	前年同月比
企業倒産	76	- 17.4

